

- ◆企画名 サマーワーク 2015
日 程 平成 27 年 9 月 15 日 (火)
場 所 第 1 学舎 1 号館 実験実習・語学系教室 1
参加者数 20 名 (ピア・サポータ 9 名、研修生 6 名、学生支援室 TA3 名、職員 2 名)
目 的

- ・ピア・サポート活動で役立つスキルを身につける。
- ・コミュニティの枠を超えて交流することで、サポータ同士の絆を深め、同じピア・サポータであることを感じてもらい今後のコミュニティ間の連携を促進する。
- ・自らのスキルアップの楽しさやおもしろさを感じてもらい、今後の自主的なステップアップを促す。

内 容

運営本部では、春学期より「合宿ワーク」(合計 2 回)や「welcome to ピア・コミュニティ」など、普段は個別に活動している各コミュニティの枠を超えて交流し、同じ関西大学ピア・コミュニティのサポータであることを感じてもらおうと企画を重ねてきた。その効果を確認する機会として、合宿を行うべくアンケートを行ったが、宿泊を伴うことなどに抵抗を示す回答が多かったため、合宿形式ではなく、1 日研修会を行い、さらにコミュニティの枠を超えて交流する機会を設けた。

10:00～10:05 企画説明など

10:05～12:20 運営本部企画ワーク「写真を撮って、話し合いをしよう」

13:10～14:40 スキルアップ講座「ストレスマネジメント」

14:50～16:30 TA 企画ワーク「実りあるミーティングにするために」

16:30～16:40 アンケート記入など

効 果

- ・3つのワークを通して、コミュニティを超えた“交流”に重きをおいて企画し、より広い交友関係を築き、日常生活ではもちろん、今後のピア活動のなかで、ともに頑張っていく仲間を増やす手助けをすることができた。
- ・日常のピア活動に直接役立つワークを行うことができ、今後の活動がより良いものになる手助けをすることができた。

改 善 点

- ・3つのワークとも、同じグループ・座席配置で行ったため、グループの中のみでの交流になってしまった。より多くの人と交流する時間を設定すべきであった。
- ・参加者のコミュニティに偏りができてしまった。このようにコミュニティを超えて交流することの良さを知ってもらい、今後はより多くのコミュニティから多くの参加者を集められるようにする。

感 想

- ・この企画をきっかけに、今まで知らなかったコミュニティの人とも親しくなれてよかった。
- ・運営側の人数が少ない中、上手く役割分担し、最大限の企画を行うことができたと思う。
- ・このようなコミュニティの枠を超えて交流できる機会をこれからも設定し、合宿参加者や各企画時の参加者増加につなげられるようにする。